

第7回吹田貨物ターミナル駅調整会議 議事要旨

1. 日 時：平成28年5月17日（火） 13:55～14:20

2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階大会議室

3. 出席者：別紙出席者名簿参照

4. 議事内容

(1) 吹田貨物ターミナル駅および大阪圏4駅の平成27年度貨物取扱量および中継コンテナ取扱量について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・吹田貨物ターミナル駅の平成27年度の貨物取扱量は60万トンです。微増となっておりますが、協定の遵守事項である年間100万トン以内となっております。
- ・他の大阪圏の駅も、微増または横ばいとなっております。
- ・吹田貨物ターミナル駅の中継取扱量は42万トンであり、協定の遵守事項である年間45万トン以内となっております。

(2) 吹田専用道路の交通量について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・1日の最大通行台数について、3月は941台、4月は926台となりましたが、協定の遵守事項である1日1,000台以内となっております。
- ・年度末は引越しなどが多いため多くなっています。

(3) その他、JR貨物が吹田貨物ターミナル駅の近況について報告しました。

- ・吹田貨物ターミナル駅に対する苦情は、平成27年度の1年間、0件でした。関西支社への電話も0件でしたが、決して問題がないとは考えておらず、住民の方のご理解によるものと思います。これからも必要な取り組みは継続します。

<質疑応答>

Q：景気がよくなったら1日1,000台を超えることがあるのですか。

A：約束でするので超えることはありません。1日1,000台以内になるように管理して対応します。

Q：今後、取扱量などの想定はどのように考えていますか。

A：昨年度が60万トンということで、協定を遵守することを前提として、鉄道輸送量が増加するよう取り組んでいきたいと考えています。

Q：年間取扱量や通行台数は厳守してもらえていると思っていますが、中継量が協定の45万トンに近づいています。どのような状況でしょうか。

A：毎年微増しているため、45万トン以内になるよう管理して対応します。

Q：吹田市にも昨年度は吹田貨物ターミナル駅に関する苦情はありませんでした。ルールを守っていただいていると認識しています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

A：今後とも取り組みを継続します。

Q：どの列車か分かりませんが、列車のブレーキ音がかなり大きいと思うのですが、対策などはあるのでしょうか。

A：ブレーキをかけると鉄同士が接触するのでどうしても音が出ます。対策としてはブレーキの扱いをできるだけソフトに扱うなどの指導を行っています。

Q：ここ1年、事故などはないでしょうか。

A：大きなものはありません。

Q：十三・高槻線でも問題は聞きません。

※次回開催について

事務局：次回の開催ですが、年に一度ということで来年度の同じ時期に開催することによってよろしいでしょうか。また、開催曜日についても、これまで毎年平日に開催してきましたが、平日だと出席が難しいという話も聞いており、土日開催も考慮することによってよろしいでしょうか。（一同了解）

以 上